

(案)

年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの 将来像・方向性とりまとめ支援業務委託仕様書

本仕様書は、県が発注する年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性とりまとめ支援業務委託（以下、「本委託業務」という。）を受注する者（以下「受託者」という。）の業務について、必要な事項を定めるものとする。

なお、本仕様書は企画提案書を作成するためのものであり、最終的な仕様については委託先候補者と協議を行い、必要に応じて修正のうえ、業務委託契約を締結するものとする。

1 委託業務名

年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性とりまとめ支援業務委託

2 委託業務の目的

年縞研究の進行により新たな研究成果が期待される中、高い学術的価値を活かし、社会的・地域的課題への対応に必要な機能強化に向けて、年縞博物館のあり方を検討するとともに、道の駅「三方五湖」をはじめとする周辺施設との連携強化に向けた方向性や施設のあり方を検討し、とりまとめることを目的とする。

3 委託期間

委託締結日から令和9年3月31日（水）まで

4 委託業務の内容

受託者は、本仕様書に基づき、年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性（以下、「将来像・方向性」という。）の作成に向けた必要な業務を実施すること。なお、ここに記載されていない事項等については、県と協議のうえ、委託金額の範囲内で内容を変更できるものとする。

(1) 検討会に向けた基礎資料および将来像・方向性（事務局案）の作成

次に示す項目を含む基礎資料および将来像・方向性（事務局案）を県および若狭町と協議のうえ第1回検討会までに作成すること。なお、プロポーザルにて提案のあった内容は、その全てが事務局案として採用される訳ではないので留意すること。

- ・ 三方五湖周辺エリアの特徴、現状、課題の整理
- ・ 縄文ロマンパーク全体および個別施設の特徴、現状、課題の整理
- ・ 縄文ロマンパーク全体のブランディング（目指すべき姿・方向性）案
- ・ 統一されたコンセプトによる施設間の連携強化、情報発信に向けた施策
- ・ 年縞博物館の目指すべき姿、方向性
- ・ 道の駅三方五湖や縄文ロマンパーク（公園部分等）の再整備に向けた方向性
- ・ 道の駅の立地、将来的な導入機能、再整備の事業手法および整備効果の検討

(2) 検討会の開催

県および若狭町、有識者等で構成する、年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性検討会（以下、「検討会」という。）の開催にあたり、次に示す業務を実施すること。

- ・検討会は、原則対面とし、オンライン参加も併用する方式にて、最低3回開催
- ・日程調整、会場準備・設営（会場は年縞博物館セミナールーム等の公共施設を利用すること）
- ・開催概要および議事録作成
- ・検討会の内容をもとに課題整理し、将来像・方向性とりまとめに向けた必要な支援
- ・検討会の他、必要に応じ、オブザーバーへの意見照会・相談
- ・県が指定する検討委員のうち外部委員（8名程度）への報償費、旅費の支払い
※報償費、旅費は委託料に含まれるものとする
※報償費は1人1回につき10,000円とする
- ・現地視察の対応
- ・検討会以外での委員との打合せ（必要に応じて）

(3) 将来像・方向性（案）の作成

検討会による議論を踏まえ将来像・方向性（案）をとりまとめること。具体的な構成については、下記を基に県および若狭町と協議のうえ作成すること。また、必要に応じて、イメージ図（スケッチ、パース等）を作成すること。

なお、将来像・方向性（中間報告案）を12月上旬までに作成すること。

≪構成（案）≫

- ・特徴、現状、課題整理（三方五湖周辺エリア、縄文ロマンパーク、個別施設）
- ・縄文ロマンパーク全体のブランディング（目指すべき姿）、ビジョン（方向性）案
- ・個別施設の目指すべき姿・方向性
※町有施設（道の駅三方五湖等）の再整備に向けた方向性を含む
- ・目指すべき姿・方向性の実現に向けた施策、取組み
- ・想定事業スケジュール

(4) 企画提案による独自の調査等

企画提案において、予算の範囲内で実施可能かつ検討に有効な調査等を提案し、実施すること。なお、独自の調査等の実施にあたり、委託料の追加は認めない。

(5) 業務にあたり参考とする関連計画等

- ・ネクストふくい観光ビジョン

https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/newvision_d/fil/4_02.pdf

- ・第4次若狭町観光振興ビジョン

<https://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/material/files/group/5/20260407.pdf>

- ・福井県観光客入込数（推計）

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankou/fukuiken-kankoukyakusu.html>

- ・年縞博物館ホームページ

<https://varve-museum.pref.fukui.lg.jp/>

- ・ 学術研究「『暴れる気候』と人類の過去・現在・未来」
<https://public.rits-palaeo.com/abbarel/ja/index.html>
- ・ 道の駅三方五湖周辺再整備事業民間活力導入可能性調査
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/001764279.pdf>

5 打ち合わせ

業務の進捗状況や業務内容等に関し、県および若狭町と定期的に打合わせを行うこと。

6 実施体制および業務スケジュールの作成

(1) 実施体制について

本委託業務に従事する適正な人数の担当者を割り当て、本委託業務に係る統制およびその他事務について、円滑に実施できる体制を整えること。また、業務に従事する人員の役割分担を明記した実施体制図を作成し、県に提出すること。

(2) 業務スケジュールの作成

県と調整のうえ、契約終了までのスケジュールを作成し、提出すること。

※想定スケジュールは別紙参照

7 成果物

成果物は次に示すものとし、それぞれ電子データ（PDF 形式および pptx 形式（もしくは docx 形式）等）で納品すること。

- ・ 年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性（案）
（A4 版縦、カラー、横書き）
- ・ 年縞博物館および道の駅を核とした縄文ロマンパークの将来像・方向性（案）
〔概要版〕（A3 版横、カラー、横書き）
- ・ 検討会議事録、各協議記録、調査等結果報告書（任意形式）

8 留意事項

- ・ 受託者は、本業務の全部を他に再委託してはならない。本業務の一部を再委託する場合は、福井県に内容を報告し承認を得ること。
- ・ 受託者は、契約期間中に知り得た情報について、本業務の遂行以外の目的に使用してはならない。また、第三者に漏洩又は開示してはならない。
- ・ 本業務に係る制作物の著作権等の全ての権利は福井県に帰属する。
- ・ 本業務の実施に当たり、紛争等が起こらないよう十分に留意すること。万が一紛争等が発生した場合は、受託者において解決若しくは責任を負うこと。なお、本項については業務の終了後についても適用される。
- ・ 本業務の終了後、成果品について、受託者の責による明らかな瑕疵が認められる場合は、受託者の負担により対応すること。
- ・ 本仕様書の定めのない事項、又は疑義が生じた場合は、その都度、福井県と受託者の協議により決定するものとする。

別紙

想定スケジュール（案）

時期	内 容
R8.9月	検討会に向けた基礎資料、将来像・方向性（事務局案）の作成
10月	第1回検討会、現地視察 ・基礎資料（特徴、現状、課題）の共有 ・全体のコンセプト（目指すべき姿・方針、ターゲット層）の検討
11月	第2回検討会 ・個別施設のコンセプト（目指すべき姿・方針、ターゲット層）の検討 ※年縞博物館と道の駅「三方五湖」を中心に検討 ・具体的な取組み、導入機能の検討（公共機能、収益・魅力向上機能）
12月	将来像・方向性（中間報告案）の作成
R9.1月	第3回検討会 ・事業目標、事業スケジュールの検討 ・将来像・方向性（案）のとりまとめ
2月	将来像・方向性（案）の作成 パブリックコメント実施
3月	パブリックコメント結果公表 将来像・方向性の策定

縄文ロマンパーク 周辺地図

